

2018年 中河内地区「夏の公開研修」報告

講座番号 (④)	講座名 「障がいのある子どもへの基本的な関わり方～動作を通したコミュニケーション」
日時	2018年7月31日(火) 14:30～16:30
講師	大阪府立佐野支援学校 指導教諭 清水 謙二 先生
<p><講座の様子></p> <p>大阪府立佐野支援学校の清水先生に、障がいのある子どもへのコミュニケーション手段の一つとしての動作法について、実践しながら、楽しく講義をしていただきました。</p> <p>動作法は、様々な発達障がいがある人や心理的不適応状態にある人、肢体不自由児やスポーツ選手、高齢者に対してなど幅広く行われ、心身の緊張と弛緩のコントロール体験を通して、場面や状況に応じた情緒や行動のコントロール力を高めることをねらいとした取り組みです。</p> <p>実際に、2人1組で肩や腰のリラクゼーションを行ってみたり、清水先生の、パニックになった児童への対応を見せていただいたりしました。</p> <p>大切なことは、動作法に限らずどのような方法でもよいので、その子どもに合った方法を見つけ、その方法で自分のイライラやパニックをコントロールできたという成功体験を積むこと。そして、その成功体験により、色々な理由でパニックになりそうになっても自分で感情をコントロールできるという自信をつけること。それが、情緒の安定につながるとともに、教師とのコミュニケーション手段になることを教えていただきました。</p> <p>最後に、教師向けに、腰痛や肩こりに効く運動も教えていただきました。</p>	
	